

2020年8月7日

各 位

E N E O S 和歌山石油精製株式会社

当社海南工場における臨時入構者の新型コロナウイルス感染について

当社（社長：佐久間 雄一郎）は、海南工場（和歌山県海南市）に臨時入構していた作業員1名に新型コロナウイルス感染症の陽性反応が出たことを8月6日（木）に確認いたしました。当該作業員は、7月29日（水）夜に症状を発生しましたが、前日28日（火）の帰宅以降入構しておらず、現在は、作業員の居住地の保健所の指示に従い罹患者が入所する施設で療養しております。

感染者の確認を受け、元請け業者に状況を確認したところ、作業員の居住地の保健所から、「現場は屋外であり現場監督者・作業員ともに無症状でまた、会話が10分程度であることから、社内に「濃厚接触者」はいない」旨の見解を得ています。

また、構内で働くすべての従業員および協力会社の皆様に感染予防対策を実行し、安定供給を維持する体制を取っており、この度の感染者発生による生産体制への影響はありません。

引き続き、所轄保健所の指導の下、健康観察等を進めるなど、感染拡大防止に向け適切に対応いたします。

地域住民および関係者の皆様にご心配をおかけすることを心よりお詫び申し上げます。

今後も当社は、従業員および取引先様の安全確保および安定的な操業継続に向けた感染拡大防止対策を迅速に実施してまいります。ご関係者の皆様におかれましては、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

以 上